

敬老バス制度に関する市民アンケート調査票

名古屋市では現在、より使い勝手がよく、かつ持続可能な敬老バス制度を構築するための検討を行っています。

検討にあたっては、事業費の暫定上限額である142億円を維持しながら、対象交通機関の拡大に必要な財源を確保する方策について、ICカードの乗車実績データから明らかになった敬老バスの利用状況も参考にしながら検討を進めています。

なお、敬老バスの対象交通機関を市内の民間鉄道（名鉄、近鉄、JR）に拡大した場合に必要となる事業費は、初期経費や事務費を除いて約9億円と推計しています。

「敬老バス制度に関する市民アンケートへのご協力のお願い」をご覧いただき、以下のアンケートにご回答くださいよう、お願いします。

問1 あなたのお住まいの郵便番号を記入してください。

（お送りした封筒の宛先の郵便番号を記入してください）

〒

				—				
--	--	--	--	---	--	--	--	--

問2 あなたの年齢(満年齢)は、次のどれですか。(あてはまる番号1つに○)

① 18~34歳

② 35~44歳

③ 45~54歳

④ 55~64歳

⑤ 65~74歳

⑥ 75歳以上

→ 問5へ

→ 問3へ

(問2で、「⑤65～74歳」、「⑥75歳以上」を選択した方にお聞きします。)

問3 現在、敬老バスの交付を受けていますか。(あてはまる番号1つに○)

① 受けている



問4へ

② 受けていない (以前は受けていたが現在は受けていない方を含む)



問5へ

(問3で、「① 受けている」を選択した方にお聞きします。)

問4 あなたはふだん、敬老バスをどのくらい利用していますか。

(2つの 内に数字を書いてください。)

1週間に

日程度、1日に

回程度

<利用回数の計算>

市バス・・・乗車するごとに1回計上

地下鉄・・・改札を出るごとに1回計上

(地下鉄を乗り換えても、改札を出なければ計上しない)

<利用回数の例> (「アンケートへのご協力のお願い」9～10ページをご覧ください。)

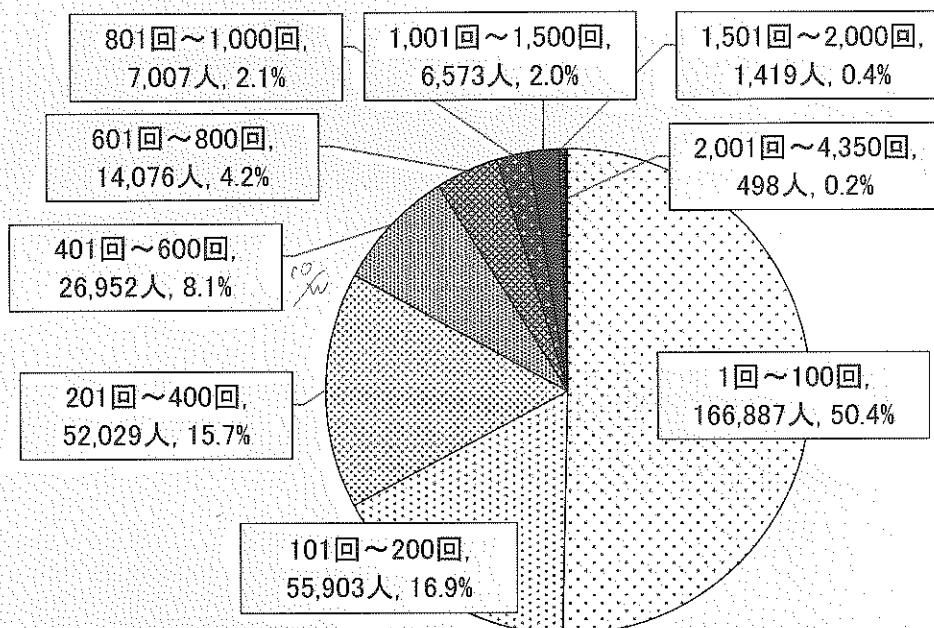
【例1】片道1回 (地下鉄または市バス) を往復する場合・・・・・・2回

【例2】片道2回 (市バス→地下鉄) を往復する場合・・・・・・・4回

【例3】片道3回 (市バス→地下鉄→市バス) を往復する場合・・・6回

【個人ごとの利用状況について】（アンケートへのご協力のお願い）5～6ページをご覧ください。)

【敬老バス利用回数の人数分布（市バス・地下鉄合計）】（平成29年3月～平成30年2月）



一人当たりの敬老バスの利用状況には、次のとおり差があります。

区分	平均	最大
利用回数 〔年間回数から の想定例〕	210回／年 〔1週間に1～2日 1日に2回～4回程度〕	4,350回／年 〔1年間に毎日 1日に12回程度〕
利用金額	47,770円／年	96万円／年

※利用金額は、利用回数に市バス及び地下鉄の各区間の単価（割引前）を乗じて算出

（上の枠内をご覧になってから、ご回答ください。）

問5 現在の制度では、一部負担金をお支払いいただければ、敬老バスで、市バス・地下鉄、ゆとりーとライン、あおなみ線を無料で何度も利用でき、名古屋市は交通事業者に対して、利用者の利用実績にもとづいた運賃を負担しています。その費用は、利用者の一部負担金を除き、市民の税金でまかなわれています。そうした中、上記のように個人ごとの利用回数や利用金額に差があることについて、あなたはどう思いますか。（あてはまる番号1つに○）

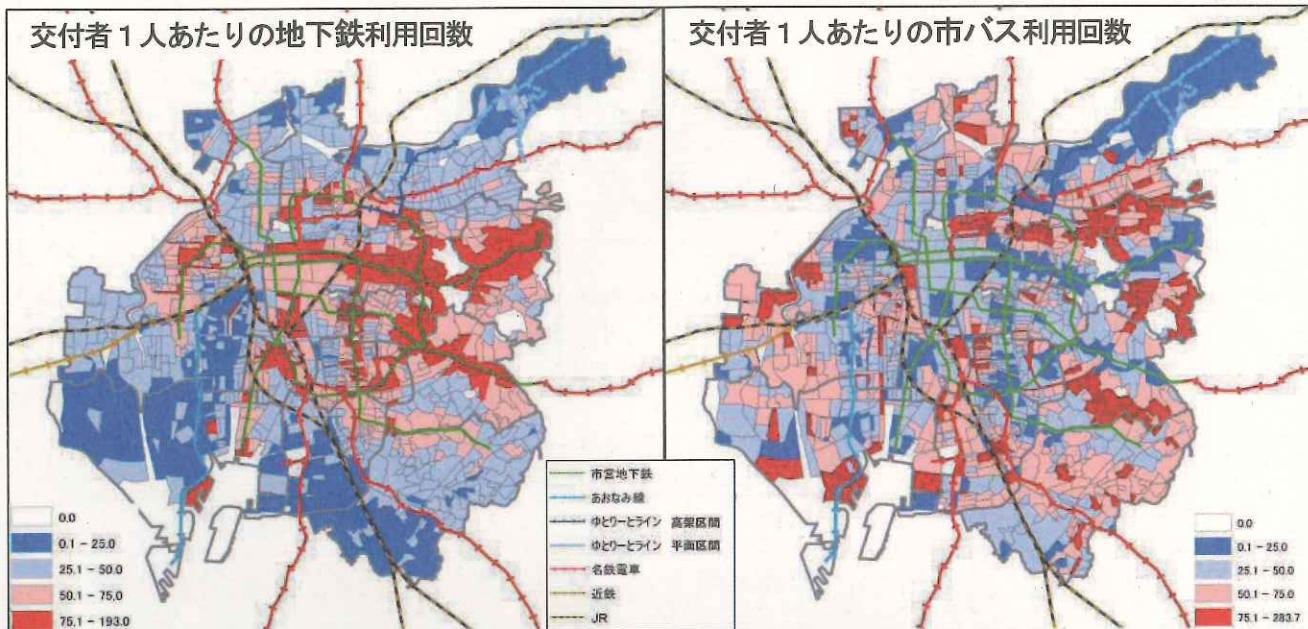
- ①（どちらかといえば）利用回数や利用金額の差が大きく、よくないと思う。
- ②（どちらかといえば）現状のままでよいと思う。
- ③ わからない。

<お住まいの地域ごとの利用状況について>

(「アンケートへのご協力のお願い」7~8ページをご覧ください。)

交付者一人当たりの敬老パスの利用回数には、お住まいの地域ごとに、次のとおり差があります。

地下鉄の利用回数は、地下鉄沿線地域で多く、
市バスの利用回数は、地下鉄沿線地域を除いた地域で多い。



※平成29年3月～平成29年8月実績

※ゆとりーとライン・あおなみ線を含まない。

問6 上記のように、お住まいの地域ごとに、一人当たりの市バスと地下鉄の利用回数に差があることについて、あなたはどう思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- ① (どちらかといえば) 地域ごとに利用回数の差があることはよくないと思う。
- ② (どちらかといえば) 現状のままでよいと思う。
- ③ わからない。

【敬老バス制度について、ご意見等をご自由に記載してください。】

アンケート調査の質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信封筒（切手不要）でご返送ください。